

日米地位協定の軍属に関する補足協定の署名式における岸田外務大臣挨拶

平成29年1月16日

（１）本日、在日米軍の軍属の扱いについての日米協力に関する日米地位協定の補足協定の署名が実現することを大変喜ばしく思う。ケネディ大使、シュローティ在日米軍副司令官、更にはここにはおられないがケリー国務長官、カーター国防長官をはじめ、米側関係者の協力に感謝。

（２）この補足協定は、先の環境補足協定に続き、日米地位協定を補足する国際約束であり、これまでの運用改善とは一線を画する画期的なものとする。この補足協定の下で、軍属の範囲が明確化され、コントラクターの被用者の適格性の基準の作成、定期的な見直し、更には米側から日本側への報告のための手続の作成等が定められている。

（３）この補足協定の着実な実施を通じて、日米間の協力が一層促進され、在日米軍の軍属に対する管理・監督が一層強化されることによって、軍属による事件・事故の再発防止につながることを期待する。

（４）今般の補足協定の署名は、日米間の緊密な協力の成果であるとする。引き続き、我が国の外交・安全保障の基軸である日米同盟の一層の深化のために、米側と共に協力をしていきたい。

（５）そして、ケネディ駐日大使におかれては、おそらくこれが在任中最後の署名式となると思う。改めて、３年余りの長きにわたって、ケネディ駐日大使から日米両国の協力の推進のために大変な努力をいただいたことに心から感謝申し上げる。ケネディ駐日大使におかれては、離任後も引き続き日米同盟の深化のために御尽力をいただきと思う。また何よりも、お元気で御活躍されることをお祈り申し上げる。